

平成 27 年 4 月 3 日

総務省総合通信基盤局  
電波部電波政策課 殿

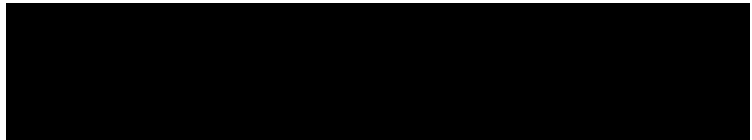
郵便番号 105-7317  
住 所 (ふりがな) 東京都港区東新橋一丁目 9 番 1 号  
氏 名 (ふりがな) ソフトバンクモバイル株式会社  
代表取締役社長兼 CEO 宮内 謙 だいひょうとりしまりやくしゃちょうけんしーいーおー みやうち けん

当該提案募集に関しまして、今回このような提案募集の機会を設けていただいたことに、厚く御礼申し上げます。

「ロボットにおける電波利用の高度化に関する技術的条件(平成 27 年 3 月 12 日付け諮問第 2036 号)に関する提案募集」に関し、別紙のとおり意見を提出します。

尚、問い合わせ等は、下記連絡先で対応致しますので、宜しくお願い致します。

(連絡先)



意見書

今回は「ロボットにおける電波利用の高度化に関する技術的条件」への提案募集に対し、利用周波数帯域に関して以下の2点を要望いたします。

1. 移動体通信用(ITU-R, 3GPP 等)に標準化の進んでいる周波数帯域は避けるべきである

携帯電話用周波数は、すでに逼迫の状態にあり、この確保を最優先すべきであることを考慮し、今回ロボットに使用する帯域については、ITU-R, 3GPP 等で候補に挙げられている周波数帯は避けて利用を考えるべきです。

2. ロボットについても海外への展開を視野に入れ、日本固有の周波数帯域での利用は避け、国際協調を図った上で利用帯域を決めるべきである

ロボットに使用する周波数帯域は、国際社会に対して日本がリードできる分野であり、海外展開を視野に入れると、日本固有の周波数の利用は避けるべきであると考えます。公共の福祉を考慮し、国際協調を図ったうえで利用帯域を決めることを要望します。

以上